

# 走行チェックシート

日付	2014年4月27日 (日)		時間	15:00 ~		イベント	2014MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦	
天気	薄曇		マシン	GSX-R1000 L4		ライダー	今野由寛 Yoshihiro Konno	
コース	名称	オートポリスサーキット			気温	18 °C		
	コンディション	ドライ			気圧	915 hpa		
	路面温度	25 °C (計測時間 14:45)		湿度	39 %			
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10			エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40		
	ファイナルレシオ	16 × 44 (2.75)			チェーンリンク数	RK GP520UWR 118 リンク		
トランスミッション	1st	A (36/17)		2.11	4th	B (31/21)		1.48
	2nd	A (37/20)		1.85	5th	C (30/22)		1.36
	3rd	B (36/22)		1.64	6th	C (32/25)		1.28
フロント	パーツ名	OHLINS FGR200(750mm)			TEN	-12 段		
	スプリング	10.50 N/m			OIL	—		
	トップアウトスプリング	1	N/mm	135 mm	油面	250 mm		
	イニシャル	5 mm			残ストローク	— mm		
	COMP	-9 段			突き出し	STDトップブリッジで16mm突き出し mm		
リア	パーツ名	OHLINS TTX(370mm)			リンク	SPL		
	スプリング	110.0 N/m			リンクロッド	— mm		
	トップアウトスプリング	125	N/mm	8 mm	車高	STD+ 16 mm		
	イニシャル	7 mm			ピボット位置	-2 mm		
	COMP	-10 段			スイング長	603 mm		
	TEN	-9 段			残ストローク	— mm		
タイヤ	フロント				リア			
	銘柄	ダンロップ KR106			銘柄	ダンロップ KR108		
	サイズ	125/80/R420			サイズ	210/60R420		
	エア圧	2.1			エア圧	1.5		
チェック	順位	10 位		ベストラップ	1' 51.197(予選)			
	水温	°C		油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
OUT		-	ℓ	燃費	km/ℓ			

## <コメント>

皆様こんにちは！

お待ちかねの！オートポリスラウンドです。

前回鈴鹿のレース後すぐにオートポリスで事前テストがあるため、九州へ移動しました。

今回のテストは一日ドライで走行できましたが、もう一日はオートポリス名物の霧がでてしまい走行できずに終了。

事前テストでは自己ベストタイムには届きませんでした。試したい仕様もあったのですがレースウィークに持越しです。

3日目に整備日を設けていましたが、2日目でレース前整備全て終わらせたので、3日目は島原へ観光に♪

一度帰宅して、翌水曜日に搬入の予定でしたがサーキットのイベントの関係で夜からしか搬入できないとのこと・・・。

開き直って九州観光♪なんだかリフレッシュしっぱなしで・・・。(笑)

さて今回のウィークは全日本全戦開幕戦とのことで通常よりも一日走行日が多いのです。

前回試せなかった仕様がテストしながら、セットを進めていきます。

鈴鹿から抱えていたコーナーエントリー時にリヤが落ち着かないという動きがなかなか消えません。

そこが決まらないためコーナー進入の車速を落とさざるを得ず、結果タイムアップすることが出来ません。

晴れていれば路面温度は上がりますが気温はそれほど上がらずタイヤ選択も難しいコンディションです。

予選は1' 51" 197で12番手を獲得。朝フリーで今後に向けてリヤサスの諸元を変更。

ようやくリヤの落ち着くイメージが出来てきました。

変化を出すために大きく振っていたので、少しボリュームを落として決勝へ。

スタート直後順位を落としてしまいましたが、4周目に10位に上げました。

その後前を行く選手とじりじり離れてしまい、単独10位でチェッカー。

なかなかうまくライダーのコメントをセットに反映できなかったのが、ここ2レースの反省点です。

次回茂木では問題点を解決しながら、自己ベストを更新するようにしていきます。

今回も応援有難うございました。

(株)Sサプライ

畑中 健太郎